

報道関係者各位

2009年10月22日(木)

デジタルハリウッド大学 特別講義

青木琴美原作の大ヒット少女コミックがついに映画化！

監督・プロデューサーが語る、
『僕の初恋をキミに捧ぐ』ができるまで

キャスト：井上真央、岡田将生、他／第22回東京国際映画祭 特別招待作品

日時：11月5日(木) 20:00～

会場：デジタルハリウッド大学・秋葉原メインキャンパス

ITビジネス・英語／留学・クリエイティブを学ぶ、デジタルハリウッド大学(メインキャンパス：東京都千代田区、秋葉原 学長 杉山知之)では、映画『僕の初恋をキミに捧ぐ』の監督・新城毅彦氏とプロデューサー・畠山直人氏をお迎えし、特別講義を開催します。

青木琴美原作の大ヒット少女コミック「僕の初恋をキミに捧ぐ」がついに映画化。

原作コミックは累計750万部数超のベストセラーとなり、2007年には第53回小学館漫画賞を受賞しました。

20歳までしか生きられないと宣告された少年とその少年に恋をした少女を描く究極のラブストーリーを井上真央さんと岡田将生さんが演じています。

今回の特別講義では、映画の作り方(企画・制作・宣伝の流れ)や撮影現場の裏側などを「僕キミ」ファン必見の内容となっています。

高校生・一般の方も参加可能となっておりますので、ぜひ奮ってご参加ください。

つきましては、お忙しい中誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、特別講義を取材いただけますようお願い申し上げます。

取材ご希望の方はEメールにてお申込みください。

(mail:press@dhw.co.jp)

○本講義は、事前に映画『僕の初恋をキミに捧ぐ』をご覧いただくとよりいっそうお楽しみいただけます。

(10月24日(土)よりロードショー)



○大学構内に映画の大型パネルを設置しておりますので、
 ご来場者のみなさまは写真撮影が可能となっております。
 “僕キミファン”の方はお見逃しなく！



【「僕の初恋をキミに捧ぐ」特別講義 Web サイト】

<http://www.dhw.ac.jp/e/bokukimi/>

【特別講義 概要】

日時：2009年11月5日(木) 20:00～21:30、19:45開場

場所：デジタルハリウッド大学・秋葉原メインキャンパス

東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル7階

<http://www.dhw.ac.jp/access/index.html>

(交通アクセス)

JR、日比谷線「秋葉原」駅徒歩1分、

銀座線「末広町」駅徒歩5分、

つくばエクスプレス「秋葉原」駅徒歩3分

定員：100名(先着申込み順)

<http://www.dhw.ac.jp/e/bokukimi/>

※多数の申し込みが予想されるため先着順とさせていただきます。ご了承ください。



【講師紹介】

監督：新城 毅彦

1962年生まれ。東京都出身。

1990年代からテレビドラマの監督、演出家として活躍。1998年の「君の手がささやいている」(EX)ではATP賞グランプリを、さらに2003年には、「アルジャーノンに花束を」(KTV)で同賞ドラマ部門最優秀賞を受賞。他にも「曲がり角の彼女」(KTV)、「レガッタ」(ABC)など、数多くのヒットテレビドラマを手掛ける。2006年「ただ、君を愛している」で劇場長編映画デビューを飾り、2007年「Life 天国で君に逢えたら」では登場人物の心情の機微を細やかな演出で見事に表現し、日本中を感動の涙で包んだ。今作品が3作品目となる。

プロデューサー：畠山 直人

1974年生まれ。秋田県出身。ニューヨーク大学映画学科卒業。1999年に日本テレビに入社し、情報番組、人事部を経て、2006年に映画事業部に異動。以降、スタジオジブリ作品や「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」などの担当として製作に関わる。本作「僕の初恋をキミに捧ぐ」は、初の企画・プロデュース作品。

【モデレーター】

高橋光輝 (デジタルハリウッド大学 学長補佐)

【作品介绍】 <http://bokukimi-movie.jp/>

■ストーリー

僕たちの恋愛には、タイムリミットがある。

20歳まで生きられないと宣告された少年・垣野内 逞(タクマ)と、その少年に恋をした少女・種田 繭(マユ)。物語はふたりがまだ、8歳の頃に始まる。

医師を父に持つ繭は、父が勤める病院で入院生活を送る逞と出会う。

互いに恋心を抱き始めるふたりだが、偶然、逞が心臓の重い病気により「20歳まで生きられない」ことを知ってしまう。

悲しみの中、幼いふたりははかない未来に向けて、叶う見込みのない“最低の約束”をする。

「大人になったら、結婚しよう」



時がたち、少女は少しずつ女へと、少年は男へと成長していく。

献身的に逞を支え、一途に愛し続ける繭。

しかし、自らの余命を自覚した逞は、恋心を封印し、繭を遠ざけようとする。

大切な繭をこれ以上、泣かせたくないから。傷つけないから……。

更に、繭に思いを寄せる昂(コウ)の登場や、逞と同じ病気を持った照(テル)との再会もあり、ふたりの気持ちは次第に揺れ動き始める。

逞の病状、繭の気持ち、互いの全てを知っているからこそ、悩み、苦しむ。

すれ違う心と心、伝わらない想い、青春の歯がゆさ、もどかしさ。

だが、そんな甘酸っぱい感傷に浸る間もなく、時は確実に経過し、逞の病状も進行していく。

運命のタイムリミットが近づく中、ふたりのもとに思いもよらぬ知らせが届く……。

しかし、その知らせは、さらなる悲劇の始まりに過ぎなかった。

■キャスト

井上真央 岡田将生

杉本哲太 森口瑤子 細田よしひこ 原田夏希 窪田正孝 寺田有希 堀内敬子 山本 學
仲村トオル

■スタッフ

監督：新城毅彦

原作：青木琴美「僕の初恋をキミに捧ぐ」(小学館フラワーコミックス刊)

脚本：坂東賢治

音楽：池 頼広

主題歌：平井 堅「僕は君に恋をする」(DefSTAR RECORDS)

製作：堀越 徹 亀井 修 中村美香 島谷能成 村上博保 阿佐美弘恭 平井文宏

エグゼクティブプロデューサー：奥田誠治



プロデューサー: 畠山直人 阿部謙三

製作: 日本テレビ放送網 小学館 PPM 東宝 読売テレビ放送 D.N.ドリームパートナーズ バップ

配給: 東宝

製作プロダクション: 東宝映画

企画・製作幹事: 日本テレビ放送網

(C)2009『僕の初恋をキミに捧ぐ』製作委員会

(C)2005 青木琴美/小学館

公式サイト: <http://bokukimi-movie.jp/>

■取材に関する留意事項(※必ずご一読ください)

- ・取材の方は開始 10 分前までに会場へお越しください。
- ・**※【20:00】にビル正面入り口が閉まりますのでご注意ください。**
- ・入場の際は受付にて身分の確認できるものをご提示願います。(名刺でも結構です)
- ・駐車場の用意はございませんので、各社でご手配願います。

【本件に関する問い合わせ先】

デジタルハリウッド株式会社 広報戦略部 パブリックリレーションズグループ 担当 : 川村

mail: press@dhw.co.jp

TEL: 03-5281-9248

デジタルハリウッド公式サイト : <http://www.dhw.co.jp/>

学長ブログ「スギヤマスタイル」: <http://www.sugiyama-style.tv/>

過去のプレスリリース: <http://www.dhw.co.jp/grand/pressroom/release/2009/>

<取材お申し込み方法>

取材ご希望の方は下記フォームにご記入の上 11月4日(水)までにメールにてお申し込みください。

<<「僕の初恋をキミに捧ぐ」特別講義 取材申し込みフォーム>>

(コピー&ペーストをしてご使用ください)

- ・ 貴社名:
- ・ 貴社媒体名:
- ・ お名前:
- ・ 電話番号:
- ・ メールアドレス:
- ・ 取材形式(該当全てに○囲み): スチール/TVカメラ/ペン

→ メール返送先: press@dhw.co.jp (件名: 「僕キミ 特別講義」 取材希望)